

第1学年 特別活動学習指導案

日時 平成22年10月1日（金）5校時
学級 1年A組 男子12名 女子9名 計21名
授業者 教諭 菅原 靖男

1 題材名「私たちの悩みや不安」

2 題材設定の理由

(1) 題材観

中学1年のこの時期の生徒は心身の発達にともない、友人関係・学習・進路・異性・体格などについて様々な不安や悩みを持つ時期である。また、自我に目覚め、他者の目が気になり、悩みや不安を素直に相談できない時期でもある。本学級の生徒も入学当初は良い意味での緊張感があり、周りに気を遣いつつ生活する姿が見られていたが、時間が経ち慣れるにつれ、さえない表情や人間関係のトラブルが見られるようになった。それは、中学校という新しい環境で生活することで、不安や悩み、ストレスが生じてきたためと考えられる。多くのことを学び、吸収し、充実した学校生活を送るためにも、それらの悩みや不安、ストレスを解消・軽減していくことが望ましい。そのため、一人で考えるのではなく、自己及び他人の不安や悩みを共通理解し、解決法を全員で考えていくことでみんなが同じような状況にあることが理解でき、連帯感を強めることになると考えた。また、この活動によって望ましい人間関係の確立に繋げていきたいと考え、本題材を設定した。

(2) 生徒観

二つの小学校から入学してきた生徒による学級である。基本的には明るく素直で、授業や諸行事、部活動に前向きに取り組む生徒たちである。日常の係活動や清掃にも真面目に取り組むほか、普段の生活では自分から積極的に話しかけてくる生徒が多い。しかし、授業や集会などで自分の考えや意見を求められるような場面では、自信のなさから意思表示を苦手とする姿が見られる。生徒間の人間関係においては自己主張が強すぎて、他者の考えや発言を認めたり受け入れたりすることや、相手の気持ちを考えることが不足している生徒もおり、内面の成長を促すような取り組みや指導が必要である。

中学校に入学し約6ヶ月が過ぎたが、夏休み明けに調査したところ、約6割の生徒が友人関係や勉強・成績、部活動、自分自身の性格などについて、悩みや不安を抱えながら生活しているという結果であった。それらの解決のために、一部の生徒はスクールカウンセラーに相談等をしているが、多くの生徒は誰にも相談せず、自分の心の中にしまい込んでしまっているのが現状である。

(3) キャリア教育との関わり

中学1年という時期は思春期に入ったばかりで、子どもから大人へと成長していく不安定な時期である。自分自身について考えたり、他人と比較することで悩んだり、不安になることも多い。しかし、他者を認めたり、受け入れたりする力が不十分なため、人間関係を上手く築くことができない時期でもある。

本題材は、キャリア教育の土台である『総合生活力』の充実を図る要素である〈豊かな人間性〉【人間関係調整能力】を育むことに関わっている。仲間の悩みや不安の解決策を考えることを通してクラス内での連帯感を強め、相手を気遣い、周囲との望ましい人間関係を築く力【人間関係調整能力】を少しずつ身につけさせていきたい。

(4) 指導観

本題材の指導にあたっては、【人間関係調整能力】を重点にしたい。日頃の生活では、自分本意の主張・言動が目立ち、相手を認めたり、受け入れたりすることが少ないだけに、ピアカウンセリングの手法を通して、相手のことを考えながら解決策やアドバイスを考えることで、普段は気がつかないが、自分だけでなく、仲間も何かしらの悩みや不安を抱き生活していることを理解させたい。そして、互いを気遣う態度を身につけていくきっかけとしたい。

班での話し合い活動を円滑に進めるために、今回はブレインストーミングの手法を取り入れ、それぞれが自分の思いを書くことで予め考えを整理し、話し合いにスムーズに入れるように配慮したい。

3 指導計画

本題材は学習指導要領第5章の第2の2のうち「(2)適応と成長及び健康安全」

- | |
|-------------------|
| ア 思春期の不安や悩みとその解決 |
| イ 自己及び他者の個性の理解と尊重 |
| オ 望ましい人間関係の確立 |

を育てるため、今回は2時間抜きの指導とする。

- ・自分の悩みや不安と向き合い、その解決法を考える（1時間）
- ・仲間の悩みや不安を知り、その解決法を考え、共有する（1時間：**本時**）

4 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・誰もが悩みや不安を抱えていること知り、解決方法を考えようとする。【人間関係調整能力】
- ・集団生活をする上で、お互いを気遣うことが必要であることに気付くことができる。【人間関係調整能力】

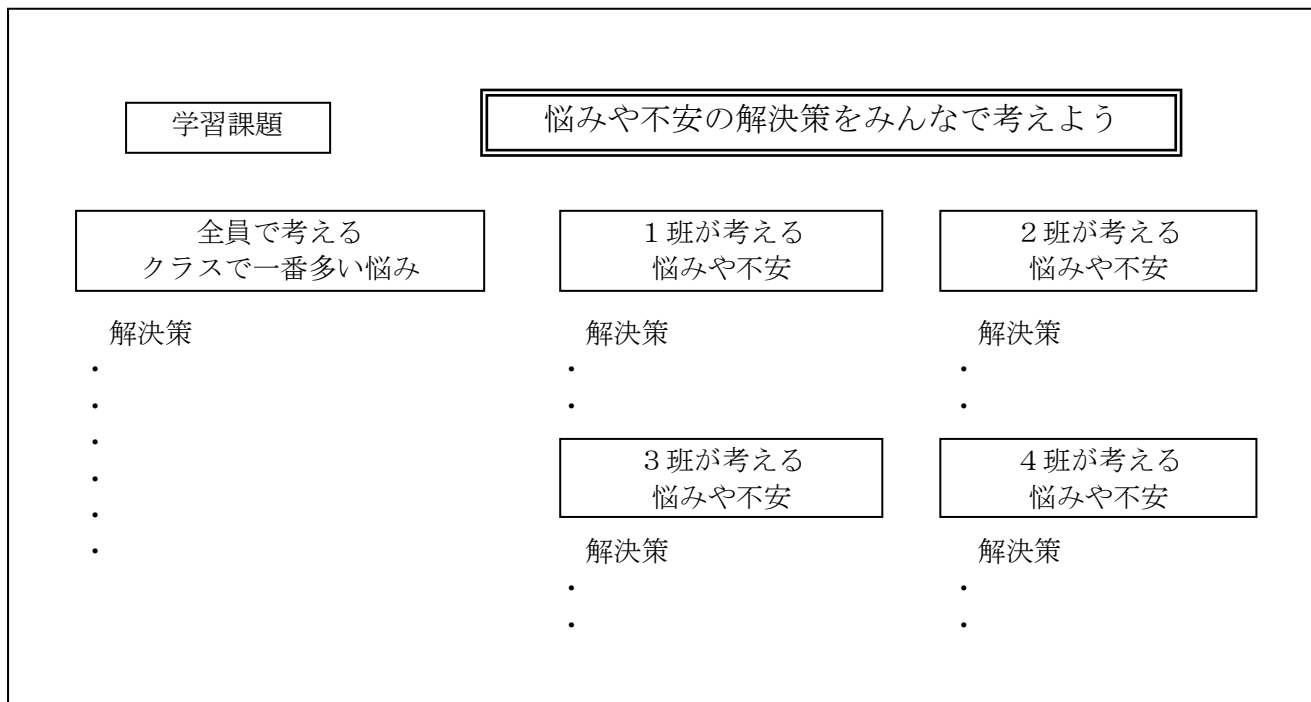
(2) 本時の指導構想

本題材のために、前時では自分の悩みや不安について向き合い、自分でその解決策を考える学習をしてきた。本時は、前時の内容を踏まえ、学級の仲間の悩みや不安の解決策を考える時間である。前時の学習を基に、生徒が一番悩んでいる内容は共通課題として全員が解決策を考える。その他の悩みは、班ごとに解決策を考え、悩んでいる生徒に還元していきたいと考えている。そして、この取り組みを通して望ましい人間関係の確立【人間関係調整能力】や悩みの解決に前向きに努力する意欲をもつことにつなげていきたい。

(3) 本時の展開

過程	学 習 内 容		指導上の留意点（・） と評価（◆）
	教師の働きかけ	生徒の活動	
導 入 10 分	1 自分の悩みや不安を考えた時のことを思い出させる。 2 クラスの悩みや不安についてまとめたものを提示する。 3 学習課題を提示する。	1 自分がどんな悩みや不安を考えたか思い出す。 2 仲間の悩みや不安について知る。 3 本時の学習課題を把握する。	◆ 仲間の悩みや不安を知ることができたか。 ・ 共感的に受け止めさせたい。
悩みや不安の解決策をみんなで考えよう			
展 開 30 分	4 生徒の多くが抱えている悩みや不安を共通課題とし、それについて個々に解決策を考えさせる。 5 生徒が考えた解決策を発表させる。	4 提示された悩みや不安の解決策を個々に考える。 5 解決策を発表する。	・ 個々に解決策を考える理由を説明する。 ◆ 解決策を考えようとしていたか。 ・ 考えられない生徒には応援のメッセージでも良いことを伝える。 ・ブレインストーミングの手法を用い、個人の考えを出しやすくする。
	6 4つに分類された悩みや不安のうちの一つについて、班ごとに解決策を考えさせる。 7 班ごとに考えた解決策を発表させる。	6 割り当てられた悩み、不安について解決策を考える。 7 自分たちで考えた解決策を発表する。	◆ 班で協力し、相手のために解決策を積極的に出し合うことができたか。
終 末 10 分	8 授業のまとめとして感想等を記入させる。 9 感想を発表させる	8 解決策を聞いての感想等を記入する。 9 感想を発表する。	◆ 相手を気づかうことが必要なことに気がついていたか。

(4) 板書計画



「悩みや不安」の解決策をみんなで考えよう

1年A組 番氏名：

共通課題	
自分で考えた解決策	
自分に役立つような解決策	

班の課題	
班で考えた解決策	

今日の授業を終えて

☆みんなが考えてくれた「自分の悩みや不安」の解決策を聞いての感想
☆解決策を聞いて、自分はこれからどうしていきたいですか。